常磐毎日新聞

日刊
四月十九日 夕刊
發行所 常磐毎日新聞社
印刷所 常磐毎日印刷株式會社

縣下第四回商組大會
今日市公會堂に開催
純綿配給の促進など
重要問題を決議

既報第四回福島縣商業組合大會は今十九日午前十時半から平市公會堂で開き宮城遙拜、皇軍將士の武運長久並に戰歿將士の冥福祈念、國歌奉唱、竹内縣商工課長の挨拶後座長選擧で遠林縣經濟部長が當選、知事告辭を座長が朗讀、次いで商工省振興部長代理川上事務官、商業組合中央會長代理安藤主事背沼市長其他來賓の祝辭あつて宣言及び皇軍將士に對する感謝を決議して休憩午後一時再會議事に入り

一、運送業者の配達取扱料金低廉統一化を其筋に要望の件（平海産物商業組合）

一、統綿並特免綿製品配給促進方商工省へ要望の件（平呉服太物商業組合）

外數件を附議終つて組合員の意見發表等あつて萬歳三唱閉會したが組合員千三百名、來賓二百餘名出席頗る盛況であつた、宣言は左の如くである

皇紀二千六百年新東亞建設の大道漸く其の緒に就きたる秋に際り我等は愈々協心戮力商業組合新商業經濟の確立を期し以て東亞の和平建設に寄與せんとす

平工業學校
五月十五日から開校

待望の平工業學校は十七日付を以て五月十五日からの開校が認可されたので縣では十八日會津工業學校教頭立花幸吉（五四）氏を新設平工業學校長事務取扱に命じ教職員の銓衡生徒の募集に當らせることになつたが同校は差當つて舊平商業學校校舍を使用、電氣科四十名、採鑛冶金三十名を收容するなほ生徒の資格は高等科卒業で修學期間は三ケ年である

校長も決定
立花氏は仙臺の人

（別項）五月十五日開校する縣立平工業學校の校長事務取扱となつた立花幸吉氏は

仙臺市原町南目出身、明治四十三年仙臺高等工業採礦冶金科卒業後三菱工業、久原鑛業等で第一線の仕事に從事更に學に志して東北帝大岩石鑛物鑛床學科に入り大正十四年卒業と同時に會津中學の教諭となり、昨年四月會津工業教頭に轉じた實際家であり同時に教育家である點、新設工業學校長には打つてつけの人とされてゐる

川部警防團披露 川部村警防團では今春縣下警防團査閲の成績優秀たので十八日午前十時から小學校で披露式を兼ね後援者並に功勞者を表彰した

天氣豫報
今晩は北西風
明日も北西の晴一時曇

川部飲食店總會 勿來川部飲食店組合はこの程總會を開き次の如く役員改選した

▽組合長村上長次郎▽副組合長安田一郎▽幹事安島繁雄、蛭田正一小島長十郎、大橋省次

小名濱信組參拜 小名濱町信用組合職員は二十八、九の兩日聖地橿原神宮を參拜する

斷食して
武運長久祈願

入遠野村收入役櫛田彥之進（五三）氏は赤井村の赤井藥師堂に參籠し七日間の斷食をして前線男士の武運長久を祈願、また御神符を送るなど銃後運動に努め關係者を感激せしめてゐる

二才駒は
値がよいぞ……

石城郡産馬畜産組合主催二歳駒糶市は十五、六、七の三日間同郡澤渡村中寺市場で開場されたが牝牡出場頭數二百卅五頭、總賣上額七萬二千四百四十九圓前年對比三割高の好成績

牝の最高記錄は九百七十圓、牡は四百五十圓で買人は大分、群馬、栃木、茨城の各縣から入り込み馬景氣を呈した

川村氏功勞表彰 平局の川村浩氏は來る二十日仙臺遞信局で擧行する第七回遞信記念式に三十年以上勤續功勞者として表彰される

濱三郡下の
木炭生産は激增
十四年度は今一息で
二百五十萬俵

石、双、相濱三郡下における昨十四年度の木炭生産販賣高は二百四十三萬一千俵に達し前年度に比し三十八萬五千俵の增加で皮肉にも木炭饑饉時代であつた昨年十二月から本年二月に亘る三ケ月間の販賣高は前年對比で倍か三月間に二十四萬俵を激增してゐるがこの原因は一部不正商人が闇取引によつて大量に縣外へ移出したため當局の取締が一層嚴重になつた三月中の販賣は前年對比で大差ない數字を示してゐる

11A―3
平商の快打に
平倶慘敗を喫す

平商對平クラブの野球戰は十八日午後一時から平商球場で擧行、先攻の平クラブ劈頭二点二回一点、計三点を先取し幸先よいスタートを切つたが流石は平商二回に二点、三回に一点を奪還したばかりか六回には集中安打をあびせ田山のホームランなど織交ぜ一擧八点を獲得遂に十一A三で大勝した、スコアーは左の如くである

	一	二	三	四	五	六	七	八	九
平商	0	1	2	0	0	8	0	0	A
平ク	2	1	0	0	0	0	0	0	0

3――11

新所得稅に就いて（七）
平稅務署長　川鍋孝藏

十五 稅金拂戻の手續は 前に述べたやうに支拂者から賞與のみの支給を受ける人が他に全然勤務所得を有しなかつたり、又は他の勤務所得が基礎控除額の七百二十圓に達しなかつたときにはその賞與に付ても基礎控除をする必要がありまして、二個所以上から給與を受ける場合に、主たる給與の支拂から受けた給與の總額が基礎控除額に達しなかつたときには從へたる給與の支拂から受けた給與額から基礎控除をする必要があるのでありまして、控除をしなかつた爲に過納となつた稅金を拂戻して貰へるのでありますがこの場合には翌年一月三十一日迄に控除不足になつてゐる基礎控除の控除申請書を給與を受ける人の所轄稅務署へ提出するものであります。

扶養家族の控除や生命保險料の控除に付て控除不足の爲稅金が過納となつた場合も基礎控除の場合と同樣であります。

十六 支拂者の義務 以上述べたやうに給與を支拂ふ際支拂者が稅金を天引徵收するのが源泉課稅の本體でありますから支拂者（稅法ではこれを徵收義務者といつて居ります）の義務、責任はまことに重大なものとなるのであります。

まづ徵收及び拂込でありますが、支拂者が稅金を徵收したときは翌月十日迄に計算書（所得稅法施行細則といふ大藏省令に揭げてあります）を添へ最寄りの日本銀行の本支店若くは代理店又は郵便局に拂込むことになるのであります。若し徵收すべき稅金を徵收しなかつたり、徵收した稅金を拂込まなかつたりした場合はその稅金を支拂者から徵收することになります。尙支店、工場等で給與を支拂ふ場合にはその支店、工場で稅金を徵收して拂込むといふことになります。

次に稅金の計算でありますが稅金の計算に當つては納稅者が申告した事項等をよく監査し、若し疑點があれば稅務署なり市區町村役場なりに照會するなどして確めて置くことが必要であります、特に扶養家族の控除申請や生命保險料の控除申請に付ては一人殘らず申請して控除漏れの無いやう出來るだけ慫慂して頂きたいと思ふのであります稅金を計算するためには特別の帳簿書類を備付ける必要がありますが、少くとも一人毎に稅金を算出する個人別の臺帳と每月の徵收稅金の合計を記入する帳簿とは必要であると思ひます。右の中個人別臺帳の標準樣式を卷末に載せて置きましたが必ずしもこの樣式に依らねばならぬわけのものではありませんが成るべくこれに依つて頂く方が便利だと思ひます。尙源泉課稅に依つて稅金を徵收した支拂者に對してはその請求に依り源泉課稅を受けた勤務所得者一人に付年十錢の交付金が交付されることになつて居ります。

以上勤勞所得の源泉課稅に付て極めて簡單な說明を致したのでありますが尙不明の點があれば最寄りの稅務署に御尋ね下さい。

小名濱支局通信

回游途上より
支局長　小野務平
【八】

泊町の小杉館の一夜は何となく淋しみを感じた閃火を友として殘春の知夜を蔣した午前七時余を蹴つて發足の準備をなし八時二十七分發の直江津行きに乘車した、車中只携ふる處の中央公論に依つて時間つぶしを敢てなし一時間途のコースを退屈もせずに直江津に到着した。

直江津からは新潟行きに乘り換へ越後平原を走しる事になつた、列車を待つ間に一事件が起つた、驛を去る左方僅に十數間の民家が火災を起し初めた事である、折柄の烈風で見る〱内に四五棟を舐め盡し火焰は濛々として風である驛舍すら火の子に掩はると云ふ危險を見るに至つた。

直江津警防團員の活動如何にと新組織に依る團員の動作を見て居ると實はその鈍重さに一驚を禁じ得なかつたのである。火災は何と云ふても機敏に立廻る敏捷を必要とする現場を外に自己の立場をのみ擁護せんとするは消火上一大禁物をされてあるも不拘、稍暫くは現場に驅けつけ來たらざる傾きあるを見ては誠に遺憾千萬であるを深く感じた。

汽車は乘り替へ時間三十分間內外で到着した、忽ち乘替へても又火の手は勢を增した模樣で乘客が何れも異に同者に直江津消防團員の不敏活さを高聲で罵るのであつた、

直江津から汽車は海岸傳へて進行し柏崎から少しく山手に寄るが意外に展開された越後平野は渺茫千里、水天に接するのではなく白雪が天に接するかの觀を呈して居る。

殊に越後平野の白雪は實に數尺を以て埋め四圍の連峰の白雪と相映じグワン素を布きしか如き白銀の世界には全く壯嚴の氣に打たるゝさへあつた茲に至つては吟身錬古詩襞の肥ゆるを覺ゆるのである。

過越後平野
十里茫々遠接天
火輪看過幾平田
由來雪國多餘滯
蒲地敷銀兆有年

と云ふ寧ろ苦吟であるか其實況に於て爭はれぬ汽車は原叉原、白雪皚々たる中を疾走し太陽の西山に傾く頃更に夕照の白銀に映ずる其勝景は雪國ならでは觀難い絶勝の風致で生れて初めて此の景勝を賞するを得たので此行より受けた利益も決して尠少でない事を喜ぶものである、汽車は何時しかこの雪の大平野をも物ともせず新潟市に辷り込んだので時に午後六時半頃であつた。

過親不知險害感
去來湖勢激巖瀧
聞昔行人幾踏危
穩坐ヘウ車撫奇勝
即今誰不頌淸時

【續く】

次回開催は
若松市に決定
役員も全部改選

（別項）今十九日の商業組合大會を前に十八日午後一時から同所に商業組合理事長會議を開き物資の配給、物價調整組合の改組、統合自治監査の徹底等の諸件を附議、次いで午後三時から商業組合中央會縣支部の第一回通常總會を開いて十五年度新豫算一萬一千三百七十四圓九十錢、その他決算役員の改選等を附議したが新役員は左の如く次回の開催地は若松市と決定された

△支部長遠林經濟部長△副支部長竹内縣商工課長△理事長長谷川平吉（福島）宗像德彌（小野新町）齋藤惣吉（坂下）武内廣之助（梁川）宇内幾右衛門（喜多方）原瀨兵一（本宮）△評議員菅本正治（平）他十四名

渡邊伍長
無言の凱旋

泉村の故渡邊新太郞伍長の英靈は廿一日無言の凱旋する

共同飼育で
春繭を增産
植田方部の申合せ

植田地方（植田町ほか八ケ村）繭業者は本年度の春繭一萬六千五百九十餘貫（昨年に比し一千四十貫增）を目指し目下掃立準備、桑園手入れに大童である、五月十日頃掃立開始の豫想、なほ勞力不足桑園肥料不足の折柄この增産計畫遂行のため左記事項を實施するが成果は期待されてゐる

⊠共同經營即ち新試みとして部落單位に稚蠶の共同飼育または稚蠶の共同催靑の實施⊠小學校兒童を動員して桑葉の害虫驅除を行はせる⊠蠶糞蠶沙を合理的に處理して桑園の肥料にする、小學生に作文ポスターを書かせ宣傳する筈

砂糖の闇取引で
立町のあんこ屋檢擧

平市正月町製餡業小野寺金雄（四二）は砂糖の闇取引を行つたこと發覺今十九日平署に檢擧された

同人は今年一月下旬頃から四月上旬にかけ東京市日本橋區箱崎町砂糖問屋から前後七回に亘り一俵に付八十錢の公定を超えて百八十俵を購入このうち百五十俵を一俵から二圓乃至三圓高く市内及び附近の菓子商に賣却約五百圓のボロイ儲けをしたものである

漁船速力
試驗柱

縣漁業組合聯合會では小名濱海岸日素工場脇並に下川尻と岬の三ケ所に漁船速力試驗柱（木造高さ廿尺）を建設この程完成した

試驗柱は沿岸航行の漁船等の燃料（重油）の經濟及び時間と速力に依る船の位置を知らせるものである

石双乾繭總會 石双乾繭組合では廿二日平市マルトモホールで通常總會を開く

舊縣道を
町道に編入

植田町では小濱漁港に通ずる縣道換線完成に依り廢道となつた舊縣道（二一九米）を町道に編入、四行政區長を次の通り決定（括弧內は代理者）

高倉鈴木一雄（鈴木保）江畑高木壽（高木安義）佐糠古川權左衛門（蛭田德次）岩間田子嘉七（阿部熊太郎）

公會堂で
歌劇の夕
東京新聞販賣研究組合主催で

平市の東京新聞販賣組合では鈴木康義指導東京少女歌劇團を後援、明二十二十一の兩日夕五時から平市公會堂で戰歿勇士遺族傷痍軍人招待、愛讀者慰安の歌劇の夕を開催するが二十日は商店法による各商店の公休に早くも前人氣盛んである

泉村議の
補欠選擧

石城郡泉村二名の村議補選はこの程行はれたが佐藤長久、下遠野藏之助兩氏が當選した

四倉警防
聯合檢閲

四倉署管內二町四ケ村警防團聯合春季檢閲は廿一日四倉小學校庭で擧行

平市人事

◎出産
△古鍛冶町三八山野邊吉之丞氏三女都子さん
△才槌小路四古山正雄氏長男正君

◎死亡
△仲間町二八菅顯氏姉麻生川靜江（三五）さん

ラヂオ

今晩の部

▽後六、〇〇 子供の時間こども音樂講座（五）弘田龍太郎
▽後六、一五 講演「遞信記念日に際して」仙臺遞信局長出倉八郎
▽後七、一〇 鄕土に寄する言葉（錄音）文藝春秋社重役鈴木氏亨
▽後七、三〇 國民歌謠
▽後八、〇〇 民謠めぐり（北九州の卷）杉本德三 片岡好滿 田上嘉子外 指揮伊藤昇
▽後八、四〇 連續講談「都築武助」（三）神田伯龍
▽後九、一〇 時事解說「北歐の海戰について」海軍中佐高瀬五郎

明日の部

▽前九、四〇 幼兒の時間「ハーモニカとうた」吉澤一郎
▽後一〇、二〇 家庭の時間「家庭と少年犯罪」關川寬平
▽後〇、〇五 土曜コンサート（輕音樂）獨唱志村道夫
▽後〇、五〇 野球試合實況＝東京六大學野球聯盟リーグ戰＝明治神宮外苑野球場より中繼（定時放送は野球を中斷して放送す）
▽後三、〇〇 婦人の時間「人形作りの苦心」野球なきときのみ放送す 岡とよ子
▽後六、〇〇 子供の時間「なぜなぜ問答」解說大島正滿
▽後六、二五 講演「歐洲列國の戰時體制」蒲司浩平
▽後七、二〇 鄕土に寄する言葉 小野孝
▽後七、三〇 國民歌謠
▽後七、四〇 子供と家庭の夕 全關西吹奏樂團聯盟
▽後九、一〇 改訂歌詞長唄選（三回）芳村伊千三郎

鄕土に寄する言葉
（午後七時廿分放送）
文筆家　鈴木氏亨（仙臺出身）

菊池寬氏の小說に「秀吉と伊達政宗」と云ふのがあります。これに據れば藩祖政宗公は一生涯に三度危機を切り拔けて居られます。政宗公は三度とも死を決してこの難關を突破しました。最初は會津若松の黑川城を攻略した時、秀吉の御朱印を持つてゐた芦名義廣を打つたがためで、政宗公が秀吉に呼ばれて小田原の陣へ行く時、或は死罪になるのではないかと非常に憂悶し、片倉小十郞に相談されたのです。天正十八年五月四日で政宗公御年二十四歲でした。

氷賣場開設

今般御得意樣の御便宜を計り工場內氷賣場を廢し大町一若松醫院前に氷賣場を設置、水野隆介を賣場主任に採用仕り候間御引立願上候

追而 凍魚、鹽干物は從來通り本社（電二二三八 三一一六）にて取扱ひ可申候

平製氷株式會社

氷の御用命は
電話二一九九番
平製氷直營賣所
平市大町

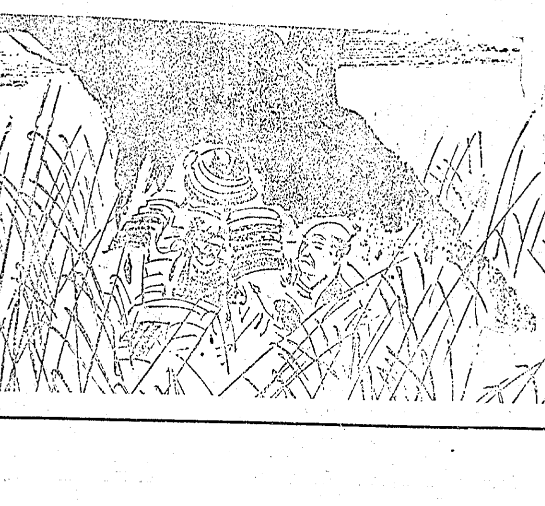
出征兵士
武運長久祈願 土俵入
露拂 大關 羽黑山
横綱 双葉山
太刀持 關脇 名寄岩
⊠場所 平市公會堂裏 川岸
⊠期日 四月二十二日 午前六時 中錢ナシ（雨天順延）
入場料一等二圓四十錢（戰時稅二割共）
團體申込所
勸進元 平市 風戸秀雄

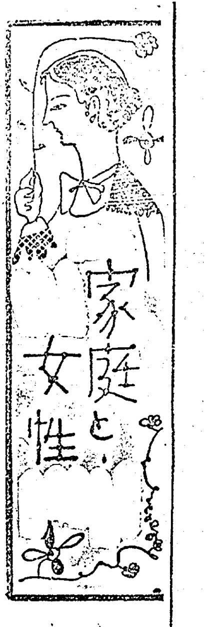
第五十三回

大蛇斬りかゝる

其の夜、四方山の話に夜の更けるのも忘れて語り合ひ、其の翌日夜明けば、今日は[illegible]河内守殿自身[illegible]、根本山[illegible]なる大蛇退治が[illegible]と云ふので、早朝より家中の者[illegible]いで出發いたします。[illegible]は[illegible]に前日のうちにチヤンと揃ふて居ります。先づ[illegible]十挺、弓五十張、[illegible]には申附けませんが何れも身輕な仕度いたし、近在[illegible]内[illegible]に[illegible]る。[illegible]かし、[illegible]ふる[illegible]に[illegible]り、[illegible]二百五十人、[illegible]の[illegible]ト[illegible]で正午少し前に根本山の[illegible]まで參りました。今日の大蛇退治に[illegible]沙汰[illegible]りましたから、根本山附近の五ケ村の者は大[illegible]んで、當日は[illegible]村の名主、其の他[illegible]つた者が途中まで御出迎へ致す。[illegible]御休息の上村の若者百五十人、今日なれば青年團員と云ふところ、それを勢子と致し、獵師十人を案内として愈々根本山へ上ります。其の有樣はまるで戰場のやう。[illegible]勢子に交つて空鐵砲を打ち放ち、貝[illegible]を吹き立て[illegible]より狩り立てます。驚いたのは此の山に棲まつてゐた山狐狸[illegible]の類、此の有樣に[illegible]してピヨン〱逃げ廻る。[illegible]よらぬ獲物だと行きがけの[illegible]と打ち殺しなどして、[illegible]くのことで河內守殿始め一同の者が大蛇の水を呑みに來ると云ふ沼の[illegible]へ[illegible]た。その途端に[illegible]の勢子、ワーワと鬨を揚げ[illegible]方を指してバタ〱と逃げて來る樣子に河內守殿始め一同が[illegible]めると沼の彼方に先づ大の男が二人手を[illegible]ぎ合さなければ[illegible]り兼ねると思はれる老松の幹に十八ツも[illegible]きつけた大蛇、[illegible]で[illegible]の[illegible]を[illegible]ほど、[illegible]、二つの[illegible]を[illegible]べたかと[illegible]はれるばかりの[illegible]かしながら、ちつと[illegible]、[illegible]が[illegible]か。

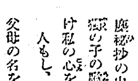
で、[illegible]の話を[illegible]。[illegible]の間に河內守殿を[illegible]つて 何 ヤア〱[illegible]く打取れッ」と大聲に下知。[illegible]、先づ廿五挺の鐵砲[illegible]へて一齊にドッと打放した。[illegible]に矢を雨と射りかけます。[illegible]めたるかと[illegible]より[illegible]れは[illegible]に[illegible]ついたと見え、[illegible]ケ所より[illegible]、加之、矢を二三本身に受けて大蛇は、[illegible]りに身を振り[illegible]かすとさしもの大木も根こそぎになるかと思ふばかり。ソレッ[illegible]が生きて居るぞてッとばかりに又もや[illegible]打[illegible]一度に打放し[illegible]山[illegible]に[illegible]、して[illegible]の一時に[illegible]に[illegible]ちかゝるかと思はれまする。[illegible]るに一[illegible]に命中いたさなかつたとみえ、[illegible]に[illegible]り[illegible]ら[illegible]ふた大蛇、スル〱と松の[illegible]を放れると[illegible]なる沼の中へザブンとばかり[illegible]入りました。アレ〱と一同呆れて眺めて居ると沼の大蛇は二三間身を振り動かしたから、[illegible]を立て、まつしぐらに此方を指して進んで來た。イヤ驚いたのは一同の者、我知らずバラ〱逃げ出します。スルト河內守殿の乘り給ふ[illegible]が此の体に驚いたと見え、[illegible]にパッと棒立ちになつた[illegible]の河內守殿アワヤ落馬[illegible]るかと見えたが、流石は[illegible]道の名人、ウウと腰を落として[illegible]へ。[illegible]り鎭めやうといたしまする[illegible]だけに[illegible]が高い、目前此の怪しさを見ては[illegible]鎭まる可き、河內[illegible]を振り落して逃げださうとする。前には大蛇の襲來、後方には此の有樣、驚いたのは家來共、アレよアレよと立ち騷ぐばかり。[illegible]のうちに大蛇は早くも岸邊へ泳ぎ付き疾風の如き勢ひにて飛びかゝりました。足を取ては堪まりません。一同の者は我を忘れて八方へ散亂いたしまする。それでも二三人の勢子は尾をふり[illegible]られて[illegible]となつて[illegible]を逃げた[illegible]子、それには目もくれぬ大蛇、[illegible]の河內[illegible]目がけて[illegible]共に[illegible]りかゝります。アワヤ河內守殿丸呑みと大蛇に飛びかゝられたかと思つた[illegible]タン其の時ペーンと一發の[illegible]の[illegible]、[illegible]が[illegible]ちましたるものか。





父母の貌

伊福部敬子



わが生れは
人知らず
父が方便が
力とも
神ぞしるらん

御白河天皇御撰にかゝる梁塵秘抄の中でも、この孤獨な子の歌つた歌は、とりわけ私の心をうつ。

人もし、父母の貌を知らず父母の名をしらず、父母の家をもたず、わがためにかけし父母の慈愛をしらなかつたらどんなにさびしいことであらう。父が辛苦して拓いた田であるを思へば、あだには思ひすてられないであらう。母が乏しさに克つて自分たちをはぐみ、よい子よい娘よい母になる事をひたすらをしへ又祈つた事を思へば、自ら身を持するに潔くなるであらう。

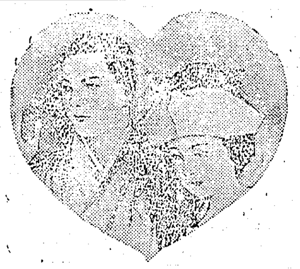
君國のために身を致し、人のために誠を致した父であるを思へば父の志業をつぐことも努へるであらう。

歴史は、父母の貌、父母の名、父母の家、そして父母の慈愛と志である。上下三千年の數かぎりないちゝとはゝによつて築つたへられた今日の文化、これを忘れる時、人は自らを重ずる事をしらず、進むべき方向を見失ふ。

次代をそだてる母にして最もしるべきは、すぎし代のちゝはゝの營みにかゝる歴史への認識である。

結婚が悲劇にをはり 子の一生を暗に葬る

戀愛に盲目となり世の掟を知らない男女



○…法律上「婚姻」とは、戸籍に書面でその屆出書は婚姻者男への戸籍謄本、戸主の同意書及び兩親の同意、證人二人が署名捺印しものでなければなりません

○…ところで婚姻と婚姻の豫約を混同する向きもありますが仲人や、儀式をあげることを「結婚」とはいはないので、たとひ同棲しても前記の形式を整へた書面屆を戸籍吏に屆出なければ「婚姻」と申しません、こゝに悲劇の原因があるのです

○…媒介人を立てゝ男女の合意とか、親と親の申合せによる同棲とか、先輩からの同棲などいろ〳〵なかたちで實質的に婚姻すること、即ち「婚姻豫約」の程度での同棲は危險です何となれば、これ等はみな正式の婚姻ではなく、單なる同棲にしかすぎない不用意の行爲だからです

○…かうしてもし當事者の一方に婚姻する意思に變更があれば、正式の婚姻をなすことは日本の法律では不可能なのです、ただ救濟の方法として、婚姻豫約不履行に基づく損害賠償請求のほか途がなく、從つてこの場合、産れる子は私生子か庶子となつてしまひます

○…なほ私の知る範圍では戀愛婚姻は失敗に終ることが少なく、世間をしらぬ男女が好きだといふだけで勝手に正式の婚姻を行ふことは無謀この上もありません、まづ親ごや先輩の意見をきき、あらゆる角度から婚姻者について調上げ、一生伴に行けるといふ見窮めがついて初めて婚姻をなすことが必要であります

○…とりわけ健康狀態、血統、徹底的にしらべ戀愛感情とにらみ合せて人生最大の事にすゝむのが最も大切です(報知法律相談所顧問辯護士高木松吉)

數の世界

障子さん 障子のさんは四十八あります、一番下の一つのわくに一厘をおき、そのとなりに二厘、その隣りに四厘とねづみ算で倍額を加へてゆくと、一番上の最後のわくはいくらの金額となるでせうか、二十九回目、一萬圓を越えて一六、六九八圓九六錢、三十五回目には百萬圓を突破一、〇六八、七六六圓七二錢、そして四十八回目の最後には驚くなかれ!八、七五五、三三四、四一〇圓四錢となります

・・・

春雨

・小ばなし・

「力士にひいきされてゐる藝者があるが、ずゐ分用心してゐるさうだよ」

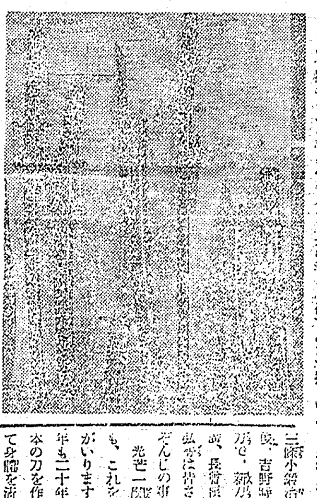
「ウム、それはひいきの引たふしを警戒してゐるのだらう」 崇

毛生液 はげ藥
うす毛の人試みよ
本劑は第一に毛の發生を速め[illegible]
送料共 [illegible]
東京市芝區田町二 山崎帝國堂
各藥店にあり 片ヒゲ炎入印に御注意

邪を斬り正義の味方

刀に籠る日本精神

日本では代々の天皇が、御位におつきになる時、うけ繼がれる三種の神器の中に劍があることはよくごぞんじでせう。日本にとつては劍はまことに尊いものでありますからながい間四民の上に立つてその御手本となつて政治をおあづかりしてゐた武家は刀を武士の魂と心得て曲つた心をもつ人を斬り正しいことの味方となつて、敵を防ぐの信念をもつてこの刀を使つて來てゐます、ですから刀を愛することもふかく、くもりやさびをつくつては大へんな恥とされてゐた、またよい行をしたものに褒美として殿様が愛刀をあたへることや、武士同志大切な約束をする場合に金打といつて、互に刀のつばから刀身を一寸拔いてカチツと音をさせてもとへ收めることなどみな刀を武士の魂と心得てゐた證據といふことができます



刀の起源は 人間がこの世に住みはじめて、火をおこす事を知つ刃物を作る事を始めたころから、既に石器で刀をこしらへて使用してゐました。その頃の刀は人間が生きてゆくために生命をおびやかす猛獸や襲つた部族との防禦に使ふばかりでなく、料理の庖丁としても使つたものです、

◎刀には劍と 太刀の二通りがあつて劍は相手を突くやうにできてをり、太刀は主に大きなものをでも切られる樣に刃も厚めに作られてゐます、今日一般に使はれてゐる刀には日本刀、洋劍、支那人の使ふ青龍刀、印度人の用ふる蕃刀など色々あります、支那各地に遠征轉戰してをられる日本の兵隊さんは、昔の日本刀を軍刀向きに鍛へたのや現代冶金學の粹をもつて鍛へた現代刀も使つてをられます、部隊長のもつてをられる指揮刀は、平時部隊を指揮する時に使ふためのもので儀禮官のサーベルと同樣刃が立つてをりません

刀の各部分 の名稱は大きく分けると刄、鍔、柄の三つになりますが、刄の部分的名稱は細かく分られてゐます、刃の反りも、上向きに反つたのや下向きに反つたのちつとも反らないものと色々あり、それによつて鳥居反り、腰反り、筍反りがあります、切先は大、中、小に分れ、とがつたのや丸いのがあります、この他なかごやすりといつて柄の中の部分や銘の文樣等それぞれ異つた名稱が附けられてゐます

刀には新刀 古刀がありますが古刀といはれるものは、奈良時代から桃山時代の慶長年間までに作られたものを云ひ、それ以後鍛へられたものを新刀と云ふのです、有名な刀匠が鍛へた刀で平安朝の三條小鍛冶宗近、五郎正宗、粟田口吉光、吉野時代の備前長光などは古刀で、新刀には德川時代の武藏大掾忠廣、長曾禰虎徹、昭和では井上眞改は皆さんもお聽きになつて御ぞんじの事と思ひます

光芒一閃拔けば玉散る氷の刃も、これをきたへるには中々苦心がいります、昔の名高い刀匠は十年も二十年も熱心に研究して、一本の刀を作るにも暗い中から起きて身體を清め邪念を拂ひ、心を籠めてきたへます。これを帶する者又自分の魂の如くに扱ひ一點の雲りをも嫌ふのであります。淺野家の浪士大石藏之助が、主君の仇討ちの機會をねらつてゐたころ敵に油斷をさせるために刀を赤錆のやうにさびさせてみたと云ふことです

西洋の劍道 みたいなものにフエーシングといふのがあります、ありますが、刀をできるだけ前出し身體はずつとさがつてなるべく斬られないやうにして鬪ひます日本人は刀と共に敵の眞正面に立ち肉を切られても對手の骨を切るといふ心構へで全身をもつて敵に向ひます。そこに日本人と西洋人のちがひがあります

陸海軍刀御用調製
御刀御用は
聖山堂
御研 白鞘 塗鞘 柄卷 拵造 鐺直し
刀劍商 伊波富次郎
日本刀鑑定會 白水會本部
東京市芝區巴町八〇番地(電停角)
電話 芝 一七四四番
振替 東京 一・三三、二二二番

試してごらん 不思議です

この二題奧樣へ進言

…洗濯をしますと手の荒れるものですが、少量の酢をおとした水でゆすいでおくと、すべ〳〵して荒れをふせぎます、同樣頭髮を洗ひシャンプーで洗つた時も最後か二番目位のゆすぎ水に酢を落してやりますと臭ひも殘らず頭髮を痛めることもありません

…また洗濯の時色落ちが氣になりましたら、酢をおとした水でちよつと色止めしておくと便利ですその他流し元にミミズがわいた時は酢をかけると全滅し、時々古酢をかけておきますとその豫防になります

…一方、野菜類を下ゆでするには、必ず湯が沸騰してから入れなさい、[illegible]分乃至二十分間ぐらゐゆでます[illegible]青菜類の場合は[illegible]を一かたまりいれ、鍋のふたをとつてゆでると、色も青々とし味もよくゆだります

…サトイモを切つてユデルと、ねばりがでて困りますから、丸のまゝでゆでゝ後で切るべきです。レンコンを白くゆでるには、米の白水をいれるとよく、ゴボウをやはらかくゆでるにはわらくずを少し入れることをお忘れにならぬやう、カンピヨウやコンニヤクはよくもみ水洗ひしてからゆでます

時局小説

驀進

士別 下ゝ樹

北野 傳畫

第百二十六回

故國へ(四)

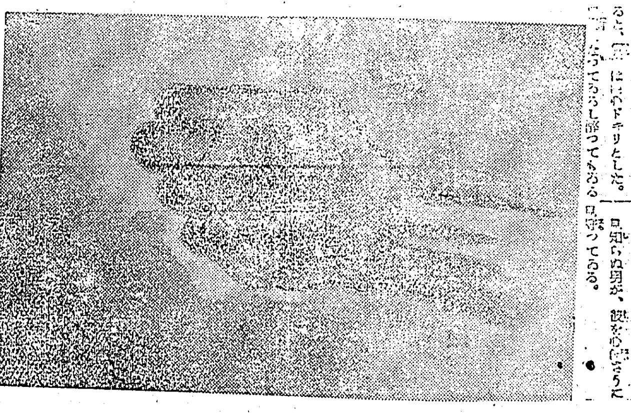
健吉もジリ〳〵と身を引きながら、今にも飛びかゝつて來さうなアザ徳を睨みつけた。

女給も客も總立ちになつて遠くの方で慄へてゐる許りで、とう手の下しやうもなかつた。只一人街だけが、默つてでもゐるのか、電話ボックスに隱れたまゝ眼を閉ぢてゐる。

「もうこれまでだ、好きな女を奪られて默つて引込む俺ぢやねえ。あんまり甘く見やがると——」

アザ徳は[illegible]を浮べながら、殺氣立つた目で健吉を睨み廻してゐた。

[illegible]にはドキリとした。[illegible]



本心でなくてもどんなハズミで怪我をしないとも限らない。

然し、アザ徳はその時猛獸のやうにとびついて來た。

健吉は一歩退かうとしたが椅子にガタッとつかへてしまつた。

「こ奴ッ」

健吉は夢中で拳をアザ徳の胸に[illegible]た。

胸にズンと手應へを感じたと思ふと、そのまゝ意識を失つて、ドッと倒れ込んでしまつた。アザ徳は胸を激しく突かれてヨロ〳〵とよろめいたが、またとびかゝつて行かうとして立ち直つた時、何處から飛んで來たのか酒が彼の顏面にパッと掛けた。

「あツ」

今度はアザ徳は顏を掩つたが、皿が飛んでペツトリと付いてきた。

「畜生ッ誰だ?」

彼は物凄い聲で怒鳴ると

「俺だ。動くな」

さう云つてノッソリと立上つたのは默つてゐると思つた街であつた。

アザ徳はこの恐ろしい無敵な人物を見た瞬間

「あつ、いけねえ」

と[illegible]で泣いたかと思ふと、クルリと後を向いて、バタバタと逃げ出した。

「何だ、何故逃げる」

街は、ドアを突開けて逃げ出した男の後姿を一寸眺めたが直ぐ倒れてゐる健吉の傍へ寄つて抱き起して

「おい確りしろ、おい確りしろ」

と搖すぶつた。

頭を刺されたのかまつ赤な血がドク〳〵と流れてゐる。

アザ徳に慄へてゐたコックや女給達も、急に騷ぎ出して、健吉の周りを取り卷いて、藥や繃帶を持つて來た。

健吉は、やつと意識をとり返してきた、靜かに眼を開くと、自分は今カフエーで、アザ徳にやられたことを思ひ出した。

「どうだ、[illegible]か」

見知らぬ男が、彼を[illegible]てゐる。

「………」

健吉は低く呻いた。

「やア動かないで寝てゐたまへ、然しひどい傷だ」

醫者がやつて來て應急手當してゐたが、大したことはないから十日もすれば快くなると云つて歸つた。

健吉は起き上つて

「どうも色々とお世話樣になりまして——」と、禮やコック達に禮を述べた後で、街に

「あなたには何處かで一度お目にかゝつたやうな氣がするんですが」

「いや僕も實は先刻からさう思つてゐたのですが——若しかすると君は大陸新山株式會社にゐたことはありませんか」

「えゝさうです、本當に御存知で居ますが」

「あゝさうだつたか、それぢや先輩が本社へ行つてお見かけしたのです」

さう云はれゝば成程さうだつた

「相手の男は一體何者です?」

健吉は上衣のポケットから名刺を出さうとして頻りに探してゐたが。

「しまつた」と叫んだ。

酵母にまさる
榮養と食慾增進劑
肝鐵
百四十日分 八、五〇
一ヶ月分 二、二〇
十五日分 一、二〇
肝鐵は……榮養劑として牛の臟器より製造したものでありますが……胃の惡い人……便通の不整な人に……從來の……酵母や胃腸藥に比較して……御話にならぬ程……よく……きゝます……ふとらぬ……と云ふ事は一、二ケ月もせぬと現はれにくいものですが……立處に胃に……ハツキリと……胃腸にきく……と云ふ事は何と云つても肝鐵の大きな強みで……きゝめを試みに服用して頂いて他の榮養劑の樣に……のわからぬ……と云ふ御叱りは……絶對にありません
—效能—
胃カタル・消化不良、各病食慾不振、黄疸、膽石・膽管炎・神經衰弱・性慾減退、乳汁分泌不足・腳氣・綜合ビタミン缺乏症、新陳代謝障礙・夜盲性・小兒ノ發育不良・榮養不良、消化不良等惡性貧血、結核性貧血、內外婦人科出血後ノ貧血及急性慢性疾患、即チ呼吸器、血行器、傳染病等ニヨル貧血症、諸ノ增血劑トシテ治療ノ機轉ヲ速カナラシム又過勞後、重病回復期、早老防止等ニ卓效アリ
阿康推選品
平市古鍛冶町(縣社石段下)
專賣所 アコー藥局
電話 四四番
振替東京三〇〇六五番

春!花の春
(とんかつ專門の店)
興亞の春を迎ひどうぞ一層の御ひいきで御引立をお願ひ致します
▼出前は迅速に御つとめ致します
平市仲田町(電話四六五)
かの家
營業時間 自 午前十一時 至 午後十一時

齒科口腔外科
レントゲン科
院長 東京齒科醫學士 原 精一
電話三一番
平市土橋通
原齒科醫院

宴會、御婚禮、仕出し
割烹 尼子亭
……お湯の設備あり……
公園內 電話一三〇番
女中さん至急入用

耳鼻咽喉科專門
鈴木醫院
醫學士 鈴木正男
平市田町(藤田女學校前)
電話一六三番

春物は!
是非當店から
(在庫豐富)

保險は帝國へ!!
帝國生命 平中央代理店
◎御報次第社員參上

ほねつぎ
桑原柔道整骨院
平市公園下 電話六七四番

洋酒と喫茶
麗人のサービス
氣分本位の店
タヒラ・ギンザ通り
グリル バツカス
電七〇二番

鈴木醫院
平市田町
電話五八番

◎女車掌
(三名至急募集)
1、未經驗者ニ限ル
2、委細面談
3、優遇ス
平市二丁目
三井タクシー
電六八五番

吉田眼科醫院
平市紺屋町
電話八六番

玉屋洋品店
平 田町通 電話六五六番

メガネ專門の店
メガネは絶對信用ある當店に
先づ御相談下さい………
玉屋
平市本町二丁目

▼自轉車とリヤカーの御用は!!!
平市才槌小路一二
矢野輪業商會
電話三七〇番

春の紳士服
羅紗界最高峰
Refinetex
リフアインテツクス
大好評
本絹國防色レインコート
大崎屋洋服店
平市銀座通 電96

これは便利!
▽手を荒らさず
▽絹、毛織物、木綿、スフ生地を傷めず
▽つけておくだけで洗へるおちのよい
美 マルミ粉末石鹸
製造元 平市材木町十一番地 電話(呼)四〇八番

開院
外科一般 內臟外科
整形外科 肛門病科
性病科 レントゲン科
平市南町(平郵便局本局裏通り)
上田外科醫院
院長 上田耕作
電話一九二番